



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,743	△10.3	494	△43.4	520	△31.0	322	△38.4
2023年3月期第3四半期	42,069	14.8	872	△16.4	753	△49.2	522	△40.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,359百万円( 0.8%) 2023年3月期第3四半期 1,348百万円( △0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	15.32	—
2023年3月期第3四半期	24.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	69,409	18,808	27.0
2023年3月期	67,951	17,765	26.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 18,727百万円 2023年3月期 17,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	△8.8	700	△49.5	600	△49.1	390	△60.1	18.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	21,350,000株	2023年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	321,992株	2023年3月期	321,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	21,028,009株	2023年3月期3Q	21,118,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会経済活動の正常化が進んだことから、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、世界的な金融引き締めや物価上昇による消費意欲の冷え込み、中国経済の回復の遅れ、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化などにより、世界経済は厳しい状況となりました。

化学業界におきましては、世界的な需要の鈍化、とりわけ中国の景気低迷による需給関係の悪化がマイナス要因となり、厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外の自動車関連や電子情報材料関連をはじめとする需要の低迷や、原料不足による石油樹脂の減産、香粧原料の大口ユーザー向け販売の減少等により、前年同期比4,325百万円減収の37,743百万円となりました。

損益面につきましては、売上高の減少による収益へのマイナス影響が大きく、加えて主原料の値上がりや人件費・設備費等の固定費の増加、2023年2月26日に発覚した当社サーバーへの不正アクセスに係る対応費用及び情報セキュリティ強化対策費用の発生もあり、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比378百万円減益の494百万円にとどまりました。また、経常利益は前年同期比233百万円減益の520百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比200百万円減益の322百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### (界面活性剤)

香粧原料は、一般洗剤の大口ユーザー向け販売の減少により大幅な減収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤の販売が振るわず減収となりました。土木建築用薬剤は、販売数量は減少したものの製品売価の上昇により増収となりました。農薬助剤は、国内外ともに低調で減収となりました。繊維助剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。紙パルプ用薬剤は、販売数量は減少したものの製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比1,955百万円、8.5%減収の21,040百万円となり、セグメント利益は、前年同期比221百万円減益の300百万円となりました。

#### (樹脂)

石油樹脂は、原料不足による大幅な減産の影響で約4割の減収となりました。合成樹脂は、自動車部品向け等の販売が減少し減収となりました。樹脂エマルションは、ガラス繊維用薬剤等の販売伸長により増収となりました。アクリレートは、中国における電子情報材料関連の需要の落ち込みを主因に4割近い減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比917百万円、24.3%減収の2,856百万円となり、セグメント損益は、37百万円の損失（前年同期は23百万円の損失）となりました。

#### (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外の自動車関連需要の落ち込みを主因に3割を超える減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の販売数量が減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。石油添加剤は、国内外ともに販売が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比987百万円、18.5%減収の4,340百万円となり、セグメント利益は、前年同期比28百万円減益の33百万円となりました。

#### (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、プレーキ液基剤や医薬用等の需要回復により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体不況によるマイナス影響が期初の想定より拡大し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比471百万円、4.8%減収の9,407百万円となり、セグメント利益は、前年同期比42百万円減益の301百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 8（セグメント情報）「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額（棚卸資産の調整額等）が△105百万円（前年同期は△35百万円）あります。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、69,409百万円と前期比1,458百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が1,429百万円増加の38,397百万円、固定資産が28百万円増加の31,011百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が1,033百万円の増加、受取手形及び売掛金が195百万円の減少、棚卸資産が572百万円の増加です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が79百万円の減少、投資その他の資産が151百万円の増加です。

負債合計は50,600百万円と前期末比414百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が184百万円の減少、短期借入金が525百万円の増加、1年以内償還予定の社債が500百万円の減少、未払法人税等が196百万円の減少、賞与引当金が323百万円の減少、未払消費税等や仮受金の増加を主因とするその他（流動負債）が914百万円の増加、社債が300百万円の減少、長期借入金が511百万円の増加、退職給付に係る負債が113百万円の増加、リース債務の減少を主因とするその他（固定負債）が147百万円の減少です。

純資産は、18,808百万円と前期末比1,043百万円の増加となりました。主な増減要因は、その他の包括利益累計額が1,033百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は27.0%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月6日の「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,078	7,112
受取手形及び売掛金	13,976	13,781
棚卸資産	16,071	16,644
その他	849	868
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	36,968	38,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,480	13,336
機械装置及び運搬具（純額）	5,418	5,169
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	393	822
その他（純額）	1,782	1,666
有形固定資産合計	24,220	24,141
無形固定資産	1,233	1,190
投資その他の資産	5,528	5,679
固定資産合計	30,982	31,011
資産合計	67,951	69,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,965	9,780
短期借入金	10,577	11,103
1年内償還予定の社債	800	300
未払法人税等	255	58
契約負債	8	7
賞与引当金	579	256
その他	3,396	4,311
流動負債合計	25,582	25,819
固定負債		
社債	2,000	1,700
長期借入金	15,295	15,807
退職給付に係る負債	6,196	6,310
資産除去債務	68	69
その他	1,042	894
固定負債合計	24,603	24,781
負債合計	50,186	50,600
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	11,971	11,978
自己株式	△163	△163
株主資本合計	14,460	14,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	2,133
為替換算調整勘定	1,710	2,451
退職給付に係る調整累計額	△353	△324
その他の包括利益累計額合計	3,227	4,260
非支配株主持分	77	80
純資産合計	17,765	18,808
負債純資産合計	67,951	69,409

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	42,069	37,743
売上原価	36,779	32,683
売上総利益	5,289	5,060
販売費及び一般管理費	4,416	4,566
営業利益	872	494
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	103	115
為替差益	-	13
受取保険金	12	89
物品売却益	48	46
その他	26	44
営業外収益合計	197	317
営業外費用		
支払利息	235	236
為替差損	17	-
その他	63	55
営業外費用合計	316	291
経常利益	753	520
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	104	11
特別利益合計	104	11
特別損失		
固定資産廃棄損	41	37
投資有価証券売却損	0	-
生産停止に伴う損失	65	-
特別損失合計	106	37
税金等調整前四半期純利益	751	494
法人税等	234	174
四半期純利益	517	319
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	522	322



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	517	319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297	263
為替換算調整勘定	1,099	747
退職給付に係る調整額	28	28
その他の包括利益合計	830	1,039
四半期包括利益	1,348	1,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,342	1,355
非支配株主に係る四半期包括利益	5	3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	20,150	2,904	2,759	9,379	35,194	51	35,246	—	35,246
アジア	2,420	860	2,117	335	5,733	37	5,771	—	5,771
その他	424	8	451	164	1,048	2	1,051	—	1,051
顧客との契約か ら生じる収益	22,995	3,773	5,328	9,879	41,976	92	42,069	—	42,069
外部顧客への 売上高	22,995	3,773	5,328	9,879	41,976	92	42,069	—	42,069
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	△79	△79	79	—
計	22,995	3,773	5,328	9,879	41,976	12	41,989	79	42,069
セグメント利益 又は損失(△)	522	△23	62	343	904	3	908	△35	872

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△35百万円には、棚卸資産の調整額△74百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	18,091	2,304	2,563	9,086	32,046	52	32,099	—	32,099
アジア	2,609	548	1,360	283	4,802	43	4,846	—	4,846
その他	338	3	415	37	795	2	797	—	797
顧客との契約か ら生じる収益	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	98	37,743	—	37,743
外部顧客への 売上高	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	98	37,743	—	37,743
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	△89	△89	89	—
計	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	9	37,654	89	37,743
セグメント利益 又は損失(△)	300	△37	33	301	598	1	600	△105	494

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105百万円には、棚卸資産の調整額△133百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。